



北海道芸術高等学校仙台キャンパス



「がんばろう!石巻」看板前

開設されている。今回視察した仙台キャンパスは、牛玉井のイメージキャラクター作成などに関わった生徒が在籍している。

副校長から、震災時の帰宅困難生徒への対応について説明を受け、その後、被災した生徒と懇談を行った。懇談では、未曾有の大災害を体験した10代の生徒に聞き及ぶことは痛々しく切ない思いがあった。

石巻市立大川小学校、南三陸町防災庁舎、仙台市荒浜地区など被災現場を視察した。建物の基礎部分を残し面影すら残っていない状況で、一瞬にして全てを飲み込んでしまう自然の脅威を目の当たりにして、改めて驚愕した。

本町は大きな災害もなく推移しているが、今後予想される災害に対して、機敏に行動できるような普段の訓練が大切である。本町の地域防災計画が全町民に周知徹底されることを期待したい。

産業厚生常任委員会 調査報告

産業の復興について

【利府町】

利府町は、新幹線の車両基地「JR東日本新幹線総合車両センター」が立地され、宮城県総合運動公園「グラウンド」や「楽天イーグルス」2軍本拠地野球場など、集客が見込める施設が整っており、仙台市のベットタウンである。

【震災による被害と現在の状況】

農作物は福島第一原子力発電所事故による放射能汚染が懸念され、平成23年8月より野菜の放射線測定を実施し、結果を町ホームページや広報紙に掲載している。

中小企業に対する復興支援として、半壊以上の建築物の解体及びがれき処分を町が7件実施している。また、震災復興及び経済環境の悪化に伴う支援として、2割増しの商品券発行

事業も実施されている。「株式会社まちづくり利府の取り組み」

同会社は、町民、事業者と利府駅周辺地区を中心とする市街地の新しい活力創出を図る目的で設立された。

平成24年度の主な事業としては、①駅前屋

- ①駅前屋台「りふれ横丁」の運営
- ②町営駐車場管理事業
- ③楽天イーグルススタジアム実行委員会運営事業
- ④「十符の里利府フェスティバル」運営事業
- ⑤高速道路のパーキングエリアでの地場産野菜の販売などが実施された。

「仙台市中央卸売市場」

震災直後から、救援支援物資の配送等の対策が取られ、停電が続くなかでも、災害時のライフラインとしての機能が十分に発揮されていた。

復旧対策として、震災後1年間は使用料を

半額減免する措置がとられ、不足分は仙台市の一般会計より補てんされた。

生鮮食料品の震災後の取扱いについては、水産部門で影響があったのは3月から5月のみで、青果部門も4月にはかなり回復した。花き部門は3月はお彼岸や卒業式等により、花の需要の年最大ピーク時で大変なダメージを受けた。食肉部門では、福島第一原子力発電所の事故により、放射能検査をしなければ出荷できず、平成24年の前半にかけてかなり



駅前屋台りふれ横丁



仙台市中央卸売市場

【被災地視察】

南三陸町の仮設商店街や石巻市の中心街に立ち寄り、復興に向けての地域の人々の並々な努力が伺われた。現地では資材不足と高騰があり、また、マンパワー不足により復興は道半ばの状況で、暮らしの再建はもとより、道路や橋などの公共施設、産業の再建と雇用の回復が急がれている。被災者の方々や地域が心を一つに「人間中心の復興」へ力を尽くすことが必要であることを痛感した。